

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 1

平成23年9月26日発行

発刊元：まつぎかわかみなと（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.8

「みせっこ」から後半スタート 百花繚乱な「おすそ分け」が並ぶ

9月12日
昼コース

第6回目の昼コースは、夏休み明け1回目。夏休み前には、「それぞれおすそ分けできるもの・こと」を作ったり、考えたりしてこよう、という宿題が出ていた。そこで、それを披露することから2学期開始。一人ひとりが手作り小物、食べ物、考えていること、前半を終わって思ったこと、などを出し合った(下図写真はその一部。左から折り紙お雛様、手作りジンジャーエール、新聞紙のエコバックとお月見セット)。そのあとに、このような一人ひとりの「おすそ分け」できるコト・モノがこれからの講座にどう関係してくるのか、松田先生よりお話があった。前半部の「ハンズインカフェ」活動を通して体感してきたことは、何かしらのモノ・コトが相手と自分の間にあると相手とおしゃべりする素材ができ、コミュニケーションしやすいということであったし、より深く自分のことを相手に知ってもらえる、ということだった。また、そうした活動を通して受講生同士の「持ち味」や考え方についてだんだんと知り合い始めている。そのような状況も踏まえて、後半は講座の時間内外を問わずに、受講生同士でそれぞれの関心事ややってみたいことに別れてチームを作り、どんどんと活動を進めていく展開となっていく。というのも、この講座はあくまでみなさんが出会い、一緒に学ぶ「きっかけの場」。講座を終えた後だって生活は続いていくはず。松田先生が強調したのは、「みなさんが楽しめることを、みなさん自身が企画者となって、どんどん進めていきましょう。そうした小さな活動がはじまれば、講座が終わった後だって、続いていくものになります」ということ。ある受講生は、「この場はまるで自由学校のように。それぞれの思いを自由な発想で形作っていく内容は嬉しい」と心強い言葉も。これから、関心ごとに沿った小さな芽がどんどん芽吹いていきそうな、そんな期待を抱いたのは私だけだろうか？(記事：川上)



コラム 発想する！タ・ネ⑥

「地域交流で新たな視点をゲット!？」

9月17日(土)、昼コース受講の8名と一緒に、栃木県は下野市へ「大人の遠足」に出かけてきました。実はここ下野市では大人塾の事例を参考に、「しもつけ大人塾」という年間講座を実施中。テーマは昼コースと同様「だがしや楽校」を中心に据えています。そこで、これまでの杉並での事例紹介と、同じテーマで学んでいる人たち同士の交流も踏まえて下野市へ！この日を迎えるにあたって受講生同士がつながりやすいように「おすそ分けできるもの・こと」を各自持参しあっていました。交流の時間には持ち寄ったもの(絵手紙・折り紙細工・手作り小物・お菓子・手作りの梅干し・梨など…)を食べあったり、見合ったりしながら一人一言ずつ「うんちく語り」に花が咲きました。下野のみなさんからいただいた「おすそ分け」には、「ようこそ下野へ!」、「来ていただき感謝大爆発!」などのシールや言葉が添えられており、それが名刺代わりにも。自分の「持ち味」を相手に見せるときに、そうした工夫があると、より一層相手に自分のことを覚えてもらえたり、印象づけることができ、関係が深まりそうです。そんなヒントがちらほらと得られた交流会。午後は、かつては地域の中心的地所だったことが伺える市内の歴史観光(古墳や国分寺址)、文化観光(グリム童話記念館)、そして欠かせないお土産ポイント(春にオープンした道の駅、コミュニティ施設も併設)に寄って帰路へ。新たな発想・つながりの芽を感じた遠足となりました。(記事：川上)



「ど真ん中の今と昔に触れた」
・NPO どこに焦点をあてる
佳 占 丸 友 子

日 暮

まち歩き、終了!

どんなキヅキがあった?

9月10日の気持ちも気候も「暑い!」まち歩きが終わり、今回は第8回目の講座。内容はまち歩き振り返り、成果と気づきをまとめることである。

まずは各チームでまとめシートを作成。それから発表を行った。投影された写真からは生き生きとしたまち歩きの姿がうかがえる。Aチームは善福寺の自然を誇りに思う気持ち、Bチームは仲間で歩きインタビューすることの面白さ、Cコースは杉並の自然環境の素晴らしさ、Dコースでは出会った素敵な方々への感動、それぞれ新しい発見が色々あったようだった。コースの説明に続き、インタビューを行った場所や人から聞いた課題の発表も行われた。それぞれの発表を聞くことは、別のコースの地域の様子を知るだけでなく、自分のグループの反省や振り返りにもなったようだった。

受講生からも発表されたが、友達と二人で歩くとおしゃべ

りなどしてすぐ目的地についてしまう。仲間同士で歩くと見えものが見えてくる。これがまち歩きの醍醐味である。インタビューも生の声を聞くことが出来ただけでなく、地域・地元の人との交流もできて大変意味があったようだ。


「今回気付いた地域課題はこれから生活していく上でぜひ意識してってください。さらに今回運営面で、うまくいったことや課題をきちんと押さえて、次回に生かしていくことが大事です」と広石さんは言う。講座において、役割り分担や準備の重要性など、主体者となったからこそ気付いたことを忘れずに、次のフェーズへとつなげていきたい。

発表を聞いた受講生が「杉並ってなんて楽しい街なんだろうと思った。自分でまわりたい!」と感想を述べた。なんといってもまずは楽しいことが重要なのであろう。お疲れ様でした!


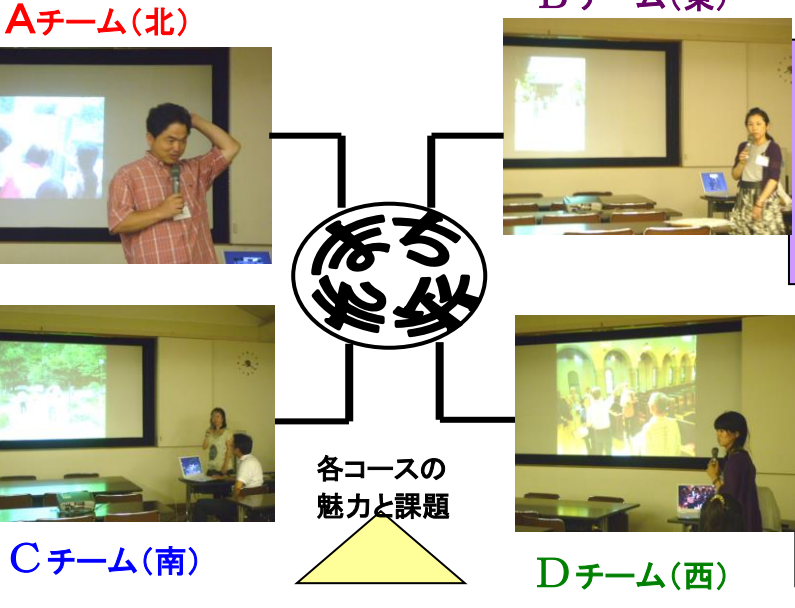
(湊)

Aチーム(北)

「ささやかな見所が満載!」
・荻窪駅の南北分断 ・アニメミュージアム押しが弱い ・他自治体との連携が薄い ・区民にとって本当に良い文化とは? ・寺と杉並の連携




「ど真ん中の今と昔に触れた」
・NPO どこに焦点をあてるのか明確でない(区民・NPO・企業)・文化財など誰が主導で発信していくのか明確でない。


Bチーム(東)

「歴史と人に触れられる」
・癒しの緑のある環境が求められている ・和田堀会館の老朽化 ・妙法寺参拝者の減少、店舗の減少 ・商店街活性化 (抜粋)



Dチーム(西)

「心あたたまる出会い」
・地域のつながりが希薄 ・学校選択性による弊害 ・建築、美術の管理 ・住宅街に街路樹・休憩所が少ない



◇今月の大人“塾”人◇ じゅく と 大人塾に参加中の…イカした! 大人たちに聞きました! ① 出身 ② 自分の好きなところ、嫌いなところ ③ 自分のつながりPR

清水谷 公恵さん 女

①神奈川県横浜市
②好き:活動的。あまり人見知りをしない。好奇心旺盛なところ。
嫌い:おせっかい。せっかちなところ。
③盆踊り、写真。

小貫 紀子さん 女

①神奈川県平塚
②好き:人の話をじっくり聞く 嫌い:自己表現が下手でこわがりなところ
③自然の中でも街中でも散歩好き。新しい人やモノとの出会い、意外な自分を発見するかも。

小川 健秀さん 男 シロクマ

①東京②好き:ストイックでケセラセラの性格
嫌い:マヌケなところ
③・水泳指導員やっています ビギナー、リハビリのお助けします。副業が大学院の講師です。

愛京三千代さん 女

①神奈川県 ②好き:楽天的な所 嫌い:出しやばり
③日本画描いています。HP: aikyo.art で検索して下さい。杉並区立美術館を作ろう運動の賛同者がいたら、声をかけてください。

◆すぎなみ大人“塾”してる?の発行にあたって◆
この新聞は事務局スタッフ松坂・川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。